



平成 18 年 10 月 23 日

各 位

会 社 名 株式会社 セ ッ ク
代 表 者 名 代表取締役社長 秋 山 逸 志
(コード番号：3741)
問 合 せ 先 経 理 部 長 中 川 美 和 子
(TEL. 03 - 5458 - 7727)

投資有価証券評価損及び中間業績予想の修正に関するお知らせ

平成 18 年 5 月 15 日の決算短信発表時に公表した平成 19 年 3 月期中間期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日）の中間業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当期の中間業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	1,270	120	70
今 回 修 正 予 想 (B)	1,335	121	51
増 減 額 (B - A)	65	1	19
増 減 率 (%)	5.1	0.8	27.1
(ご参考) 前 期 実 績 (平 成 18 年 3 月 期 中 間)	1,141	73	45

2. 修正の理由

携帯電話端末のエンベデッドソフトウェア開発案件を中心に受注が好調に推移し、売上高は予想を上回り経常利益はほぼ予想どおりの見込みであります。しかしながら、当社が所有する投資有価証券のうち、株式会社ターボデータラボラトリーの株式が、発行会社において先行投資が継続しているため利益計画を達成できず、取得価額に比べ実質価額が低下しております。従いまして、財務の健全性の観点から金融商品会計基準に基づき評価損 35 百万円を計上いたします。

なお、当社と発行会社は、当社ソリューションツールの Karearea（超高速インメモリ XML データベース）に発行会社の製品を組み込んでいる関係にあり、この関係は今後とも維持していく方針です。

通期業績予想につきましては、受注残高が期初予想を上回る水準にあるため、修正しないことといたします。

（注意事項）

上記に記載した予想数値は、本資料発表時現在において当社が入手可能な情報に基づいて算定しており、実際の業績は、今後様々な要因により当該予想と異なる場合がありますのでご承知おきください。

以 上